

# 在庫管理アプリ

2024/05/13

株式会社ネオジャパン カスタマーサクセス部

# 用意するアプリ

以下3つのアプリを用意する。(各アプリの役割についての概要)

## (1) マスタアプリ

↳ マスタ名称を登録する。(3)に登録された入出庫数を参照し、在庫数を算出する

## (2) 入力アプリ

↳ (1)で登録されたマスタを選択のうえ、入庫数や出庫数を登録する

↳ (3)にマスタ名称、入庫数、在庫数を自動登録する

↳ 入力アプリへのデータ登録毎に、(1)のアプリ内のマスタ情報を更新する

## (3) 蓄積アプリ

→ (2)で登録のあったデータを蓄積する

AppSuite > 在庫:蓄積 > アプリケーション設定

メニュー | 画面デザイン | 部品管理 | アクセス権

変更 | キャンセル | 複写して新規作成 | 印刷プレビュー

詳細画面

入力画面 ▾

ユニークな番号

文字(一行)部品を利用

マスタ名称

文字(一行)部品を利用

入庫数 出庫数

数値部品を利用

数値部品を利用

AppSuite > 在庫:マスタ > アプリケーション設定

メニュー | 画面デザイン | 部品管理 | アクセス権

変更 | キャンセル | 複写して新規作成 | 印刷プレビュー

詳細画面

ユニークな番号 (自動採番)

マスタ名称

入出庫

|  | 入庫数   | 出庫数   |
|--|-------|-------|
|  | 12345 | 12345 |
|  | 12345 | 12345 |
|  | 12345 | 12345 |

在庫数 12345

更新用部品 (利用しない) (未選択)

部品の設定

- 基本
  - 部品名
    - ユニークな番号
    - タイプ
      - 文字(一行)
        - 任意の値  自動採番
    - 自動採番の詳細
      - 編集
    - 入力制限
      - 値の重複を禁止する
  - ユーザー補助
    - (なし)
    - 配置
    - タイトル
    - スタイル
    - 複写の設定

文字(一行)部品を利用し、自動採番を有効にする  
値の重複を禁止にする

自動計算部品を利用し、参照データ一覧内の  
入庫数の合計値を算出  
SUM( {{入出庫}}. {{入庫数}} )

自動計算部品を利用し、参照データ一覧内の  
入庫数の合計値を算出  
SUM( {{入出庫}}. {{出庫数}} )

自動計算部品を利用し、参照データ一覧内の入庫数から在庫数を減算する  
SUM( {{入出庫}}. {{入庫数}} ) - SUM( {{入出庫}}. {{出庫数}} )

参照データ一覧部品を配置する  
※設定方法は後述 P.5

プルダウン部品を配置する  
選択値は何でも構わない

変更 | キャンセル | 複写して新規作成 | 印刷プレビュー

AppSuite > 在庫:マスタ > アプリケーション設定

メニュー | 画面デザイン | 部品管理 | アクセス権

変更 | キャンセル | 複写して新規作成 | 印刷プレビュー

詳細画面

ユニークな番号  
(自動採番)

マスタ名称

入出庫

|  | 入庫数   | 出庫数   | 入庫数   |
|--|-------|-------|-------|
|  | 12345 | 12345 | 12345 |
|  | 12345 | 12345 | 12345 |
|  | 12345 | 12345 | 12345 |

在庫数

表示する部品 選択 (\*)

- 入庫数
- 出庫数

データの並び順

データID 昇順 降順

データの絞り込み (以下のすべての条件を満たす)

(条件を追加)

※ (\*)は必須項目です。

参照データ一覧の詳細設定

関連するデータの一覧を表示する設定です。

参照先アプリケーション(\*)  
在庫:蓄積

関連データを見つける条件(\*)

参照先アプリケーションの部品: ユニークな番号

このアプリケーションの部品: ユニークな番号

※ 上記の値が一致したデータの一覧を表示します。

表示する部品 選択 (\*)

- 入庫数
- 出庫数

データの並び順

データID 昇順 降順

データの絞り込み (以下のすべての条件を満たす)

(条件を追加)

※ すべての条件に合致するデータに絞り込みます。

※ (\*)は必須項目です。

参照先は蓄積アプリとする。  
関連データを見つける条件は、それぞれ  
部品名:ユニークな番号とする。  
表示する部品は入庫数と出庫数とする。



本設定を行なうことで、マスタアプリ内に、「蓄積アプリ内に登録された入庫数と出庫数」を表示することができる

AppSuite > 在庫:入力 > アプリケーション設定

メニュー | 画面デザイン 部品管理 アクセス権

変更 | キャンセル | 複写して新規作成 | 印刷プレビュー

詳細画面 入力画面

マスタ名称  ユニークな番号

入庫数  出庫数

現在の入出庫状況

|  | 在庫数   | 入庫数   | 出庫数   |
|--|-------|-------|-------|
|  | 12345 | 12345 |       |
|  | 12345 | 12345 | 12345 |
|  | 12345 | 12345 | 12345 |

部品の設定

基本

部品名

出庫数

タイプ

数値

初期値

入力制限

値の重複を禁止する

入力を必須にする

最小値  最大値

小数点桁数

マスタ名称は文字(一行)部品を配置。マスタアプリと関連付けする ※設定方法は後述 P.7

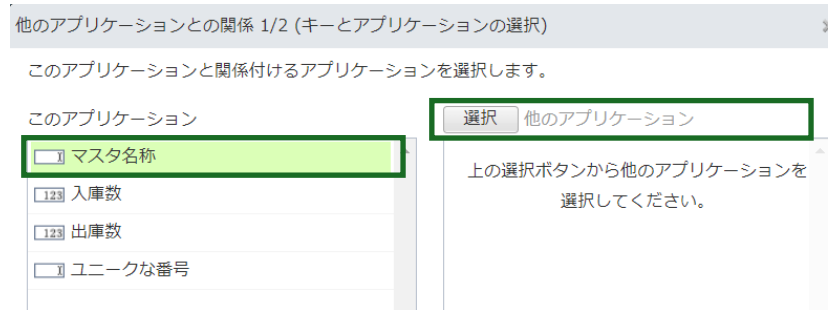
数値部品を配置する。初期値は「0」とする

参照データ一覧部品を配置する ※設定方法は後述 P.8

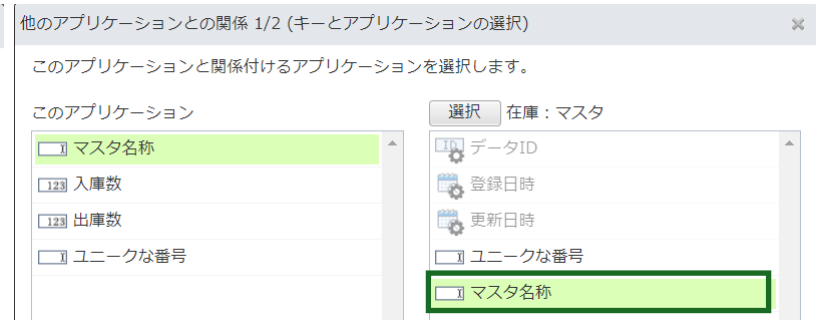
①マスタ名称を選択し、「他のアプリケーションの部品」タブから「関係の追加」を選択する



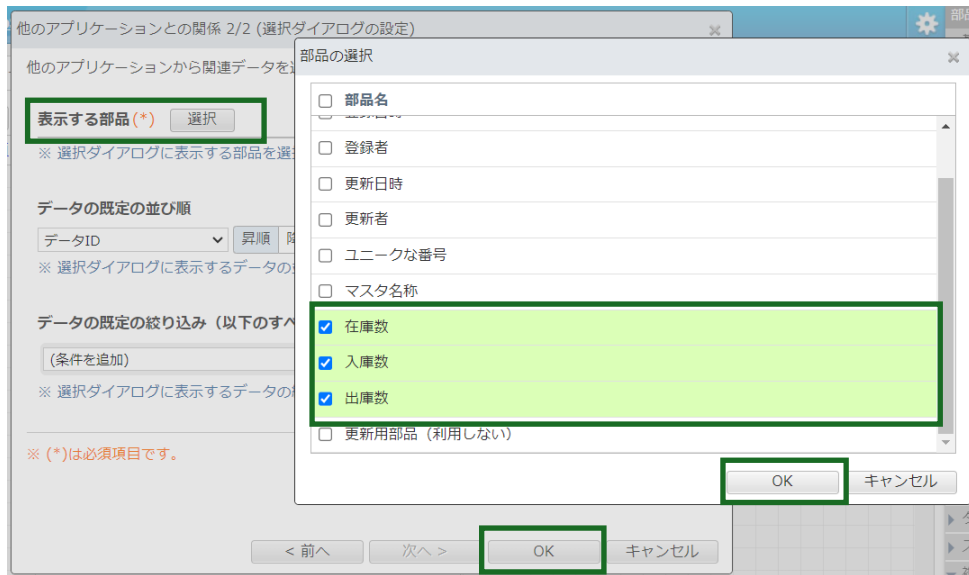
②このアプリケーション内の「マスタ名称」を選択し、選択ボタンをクリックする。



③在庫:マスタ内の「マスタ名称」を選択し、「次へ」を押す



④表示する部品の選択ボタンをクリックし、立ち上がったウィンドウから在庫数/入庫数/出庫数を選択し、OKを押す



⑤「他のアプリケーションの部品」タブ内にある、部品名:「ユニークな番号」を選択し、マウス操作で帳票内に移動し、配置する。また、部品種別を複写部品とする。



本設定を行なうことで、入力アプリからマスタを選択すると、そのマスタに該当する部品名:「ユニークな番号」が自動登録される

AppSuite > 在庫:入力 > アプリケーション設定

メニュー | 画面デザイン | 部品管理 | アクセス権

変更 | キャンセル | 複写して新規作成 | 印刷プレビュー

詳細画面

入力画面

参照データ一覧の詳細設定

参照先アプリケーション(\*)  
在庫: マスタ

関連データを見つける条件(\*)  
参照先アプリケーションの部品: ユニークな番号  
このアプリケーションの部品: ユニークな番号  
※ 上記の値が一致したデータの一覧を表示します。

表示する部品 選択 (\*)

- 在庫数 ×
- 入庫数 ×
- 出庫数 ×

データの並び順  
データID 昇順 降順

データの絞り込み (以下のすべての条件を満たす)  
(条件を追加)  
※ すべての条件に合致するデータに絞り込みます。

マスタ名称: [検索] ×      ユニークな番号: [検索]

入庫数: [0]      出庫数: [0]

現在の入出庫状況

|        | 在庫数   | 入庫数   | 出庫数   |
|--------|-------|-------|-------|
| [アイコン] | 12345 | 12345 | 12345 |
| [アイコン] |       |       |       |
| [アイコン] |       |       |       |

参照先は在庫:マスタアプリとする。  
関連データを見つける条件は、それぞれ  
部品名:ユニークな番号とする。  
表示する部品は在庫数と入庫数と出庫数とする。



本設定を行なうことで、入力アプリ内に、「マスタアプリ内に登録された在庫数と入庫数と出庫数」を表示することができる



## 自動処理(入力アプリ)

# 自動処理

以下2つの自動処理を用意する。(各アプリの役割についての概要)

(1)入力アプリから蓄積アプリへのデータ追加 ※P.11

(2)入力アプリからマスタアプリへのデータ更新 ※P.12

→データ更新時、自動計算を作動させ、最新の在庫数、入庫数、出庫数を反映するため

自動処理設定箇所：

desknet NEO

| マスタ名称 | 入庫数 | 出庫数 |
|-------|-----|-----|
| 1 ベン  |     | 500 |
| 2 ベン  |     | 0   |
|       |     | 300 |

AppSuite > 在庫:入カ > アプリケーション設定

メニュー | 画面デザイン | 部品管理 | アクセス権

アプリケーション設定

- アプリケーション
- 画面デザイン
- 部品管理
- アクセス権

自動処理

- データの追加・変更時の処理
- インポート時の処理
- 定期処理

データの追加・変更時の処理 | インポート時の処理 | 定期処理

処理の作成 | 実行順変更 | 削除

# (1)入力アプリから蓄積アプリへのデータ追加

The screenshot shows the 'AppSuite > 在庫入力 > アプリケーション設定' interface. The main title is 'データの追加・変更時の処理の変更'. The '状態' (Status) is set to '有効' (Active). The 'タイトル(\*)' (Title) is '入力→蓄積'. Under '処理を行うタイミング(\*)' (Timing of processing), the checkbox 'データの追加時に行う' (Perform at data addition) is checked. The '処理対象の絞り込み' (Filtering of processing objects) is set to '(条件を追加)'. Under '実行内容' (Execution content), the '処理タイプ(\*)' (Processing type) is 'データを新規追加'. The '保存先アプリケーション(\*)' (Destination application) is '在庫:蓄積'. Under '保存する値(\*)' (Values to be saved), the fields 'ユニークな番号' (Unique number), 'マスタ名称' (Master name), '入庫数' (In-stock quantity), and '出庫数' (Out-stock quantity) are all selected. The '保存するデータの登録者' (Data registrant) is '元データの登録者'. Three blue callout boxes provide instructions: 1. '処理を行うタイミングは、「データの追加時に行う」とする' (Timing of processing is 'Perform at data addition'). 2. '処理タイプは、「データを新規追加」とする' (Processing type is 'Data new addition'). 3. '蓄積アプリに保存する値は、「ユニークな番号/マスタ名称/入庫数/出庫数」とする ※左側が蓄積アプリ内の部品' (Values to be saved in the accumulation app are 'Unique number / Master name / In-stock quantity / Out-stock quantity' ※ Left side is parts in the accumulation app).



本設定を行なうことで、入力アプリで登録した内容が、蓄積アプリへ1レコードとして登録されます。

## (2) 入力アプリからマスタアプリへのデータ更新

AppSuite > 在庫入力 > アプリケーション設定

メニュー | 画面デザイン | 部品管理 | アクセス権

変更 | キャンセル | 削除

### データの追加・変更時の処理の変更

状態  
有効 無効

タイトル(\*)  
入力→マスタ

処理を行うタイミング(\*)  
 データの追加時に行う  
 データの変更時に行う

処理対象の絞り込み  
(条件を追加)

実行内容

処理タイプ(\*)  
データを更新

保存先アプリケーション(\*)  
選択 在庫: マスタ

変更対象のデータを特定する条件(\*)  
保存先アプリケーションの部品: ユニークな番号  
このアプリケーションの部品: ユニークな番号  
※ 上記の値が一致したデータを変更します。

POINT  保存する値(\*)  
更新用部品 (利用しない): (任意の値) (未選択)  
(保存先の部品を追加)

処理を行うタイミングは、「データの追加時に行う」とする

処理タイプは、「データを更新」とする

保存先アプリケーションは、「マスタアプリ」とする

変更対象のデータを特定する条件は、それぞれ「ユニークな番号」とする

保存する値は、マスタアプリ内の更新用部品とし、値は未選択とする

【ポイント】  
マスタアプリを更新したいがため、  
不要な(影響を受けない)部品を更新しています

本設定を行なうことで、入力アプリにデータ登録時、マスタアプリ内のデータが更新されるようになる

## 注意点

間違えて、入力アプリから入庫数、在庫数を登録してしまった場合は、  
入力アプリ及び蓄積アプリにて該当データを削除ください。